

菜の花プロジェクト「自立」曼荼羅

2001年に設立した「菜の花プロジェクトネットワーク」の活動を
「自律と自立」の観点からまとめたのが《菜の花自立曼荼羅》です。
10の「自律と自立のキーワード」は私たちの活動の中から生まれてきました。



菜の花自立曼荼羅

未来は創りだせる



「自律の精神」と「自立の力」を持っていれば、あとはほんの少しの勇気だけで未来を拓く発想と行動が生まれる。

特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地 Tel.0748-46-4730 Fax.0748-46-4550
E-mail. webmaster@nanohana.gr.jp http://www.nanohana.gr.jp

近畿ろうきん「社会貢献預金・すまいる」の2016年度寄附を受けています。



エネルギー自給率

食糧自給率

甘え

地域における「食とエネルギーの自立」

- 自由な発想と行動を確保するには、自分たちの生存を確かにする条件を整えておくことが大事です。それは「食とエネルギーの自立」にほかなりません。
- どんなに理想を語ろうとしても、まず足元の「食とエネルギー」が第一です。
- その大事なものを生み出す「源」はすべて「足元」あなたの地域にあります。

「代替案」を提案し実行する

- 私たちは稚拙でも、自分で考え続けないといけない、そして行動しないといけない。と思います。
- 「考える」ということから「自律と自立」は始まります。
- その成果が「代案」であり、行動を通して修正が行われます。何度も「修正」が私たちの「自立」に厚みを生み出してくれます。

諦めない、持続する、続ける

- 「願えば叶う」と言われますが願ってもなかなか叶うものではありませんが、「願わなければ叶わない」のも事実です。
- 願いを叶えるために何が大切か。それは《諦めないこと》《続けること》。
- 大切なのは「あなた自身」です。「主人公はあなた」です。

社会の仕組みを自らつくる

- 私たちの「理想」「ミッション」を形にすることはとても大変です。仕組みは思いつきだけでは出来上がりません。しかし、挑戦してみる価値はあります。
- 「社会の仕組みをつくり出すこと」は「自律と自立」の大きな果実です。
- やっかいな仕事を他人任せにしていては、向こうから「望む社会」はやってきません。

運動を次世代につなぐ

- 地域づくりの取り組みは地域の未来を向いています。その未来社会は空想的で抽象的な未来社会ではなく、生身の人々が暮らしている現実的な未来の地域です。
- その地域の未来世代に運動の精神をつないでいくという意識が大事です。
- 未来世代から見たとき、いまの取り組みはどうなのか。不斷の問いかけが未来世代にツケを回さない我々世代の責務です。

自信喪失

孤立

不安

閉塞感

統制

たごっぽ

いがみ合い

あるものをつなぐ

- 「ないものねだり」が田舎の暮らしやすさをこわしてきました。しかし、田舎には魅力的なものがたくさん残されています。残念なことにそれらがばらばらに散らばっていること。
- 「あるものいかし」のためには「あるものつなぎ」が大事です。
- 形のあるものないもの、埋もれているもの、見捨てられたもの。その中から田舎の宝物を見つける「つなぐ」ところから「新しい価値」が生まれます。

他のNPO活動との連携

- ミッション(使命)を持ち活動を続けているNPOは自らの存在感を強調するあまりに相互交流の壁が高いことがあります。しかし、培ってきた専門性を持つNPOが連携すると活動の幅を広げることができます。
- 総合力を持つことは時代を切り拓くためには不可欠です。
- 多様な関係性をつくることが活動に幅を広げ、深め、影響力を高めてくれます。

「中間技術」「適正技術」の重視

- 人間の生きづらさを軽くすることが目的であるはずの科学が人間を生きづらくさせ、人間に利便性をもたらすはずの巨大科学技術に私たちを翻弄されています。
- 暮らしの中で人間が使いこなせる身の丈にあった「技術」が大事です。
- 供給者から一方的に提供される技術ではなく、ユーザー側の生業(なりわい)や暮らしを踏まえた技術が地域の暮らしを安定したものにしてくれます。

学ぶ・質を高める・深める

- 自律の力をつくり、自立の力を育てるためにはたゆまぬ研鑽が大事です。世の中には「教師」「先生」がたくさん存在します。そしてまたあなたも「先生」です。
- お互いにリスペクト(尊敬)することで私たちは「豊かな個」を育てられます。
- 菜の花プロジェクトは全国で《地域の数だけ》《個別的に》進められています。お互いに学び合うことがたくさんあります。